

上尾市学校施設更新計画基本計画 地域説明会

日 時	令和3年7月3日(土) 13:30~14:45
場 所	上尾公民館 講座室401
参加人数	12名
意見・要望等	
事務局	【上尾市学校施設更新計画基本計画について説明】
参加者	<p>17 ページの適正な学校規模づくりでクラス替えができる学校規模づくりとあったが、全国で小規模な学校はたくさんある。そういう意味では1学級のところがあって当然だと思う。</p> <p>文科省が35人学級を始めたが、世界では小規模校・少人数学級である。35人ではなく20人ぐらいである。</p> <p>上尾市で20人に満たない学級がある学校を教えてほしい。</p> <p>20人学級の見通しで学校を作っていくべきではないか。</p> <p>子ども達が考えて、行動、発言する教育が浸透していくと、35人学級ではうるさくなってしまうのではないか。</p> <p>中学校でいうと、40人もいたら質問が多発した場合、指導が出来ないのではないか。</p> <p>文科省もさらに少人数学級を進めていくと思うので、そうすると今の計算の基準が35人ではいけなくなってくると思う。その部分を考えてほしい。</p> <p>お金のことにに関していうと、戦後しばらくの間は日本の教育予算はまともな水準であったが、現在ではOECDの中で一番低い。高いところは日本の3倍もある。</p> <p>世界で稀な40人学級を日本は続けている。</p> <p>文科省が決めた方針にのみ従うのは上尾市の独自性がないように感じる。</p> <p>市民の皆さんが考えられるような方法でお願いしたい。</p>
教育総務課長	<p>1点目の20名以下の学級がある学校ですが、平方北小学校が1年生16人、2年生22人、3年生17人、4年生20人、5年生21人、6年生が28人という学級編成である。</p> <p>少人数学級への考えですが、計画を作る以上、確固たる根拠が必要になり、その根拠が法律であり、現在は35人学級になっている。</p>

<p>参加者</p> <p>教育総務課長</p>	<p>そのようなことを踏まえると、国の基準に合わせて 35 人学級を進めていく形になると思う。</p> <p>上尾市としては過去に 30 人程度学級という施策を展開していたが、教員確保の問題などがあり、今は通常通りの形になっている。どのような形がよいのかを議論しながら考えていきたいと思う。</p> <p>20 人以下の学級が 3 つあるということか</p>
<p>参加者</p>	<p>結果的に 20 人以下の学級が編成されている。</p>
<p>参加者</p>	<p>この基本計画が市の広報で発表されたときに本当に驚いた。そのひとつは小中一貫校を東側と西側に作るということである。小中一貫校というのは私立の学校の中ではよく聞くが、上尾市立の学校での小中一貫校はどういうものなのか。</p> <p>先生は本当に忙しい。自分が授業以外のことで、時間をとられている。</p> <p>小中一貫校というのは、先生方の要望によるものなのか、あるいは小中一貫校について、先生方の理解を得たのか。</p> <p>それから更新計画の進め方についてこれから丁寧に説明し進めていくということだが、市民の意見を本当に反映させるという意味では、こういう説明会ではなく、公聴会のようなものが良いと思う。</p> <p>本当に市民が主人公になるためにも、公聴会を各地域で開催してほしい。</p>
<p>事務局</p>	<p>基本計画の中では、小中一貫教育の実施を想定して、大きな敷地のある平方地区と原市地区の 2 校について、小中一貫一体校として、再編案を示しているが、小中一貫校として教育を導入するか否かの方針についてはまだ教育委員会として決定していない。</p> <p>今後、先進都市の視察などを含む調査、研究などを行い、令和 4 年度中に、教育委員会として小中一貫校の方向性を決定していく方針である。</p> <p>その際には、先生からご要望やご意見なども踏まえて検討していく。</p>
<p>教育総務部長</p>	<p>計画の進め方について、教育委員会の説明ではなく、各地域で公</p>

<p>参加者</p>	<p>聴会の開催が良いというご意見だと思うが、教育委員会としても、この件に関しては、学校だけではなく、地域でいろんな問題や課題があると考えているため、公聴会の形をとるかわかりませんが、地域の皆様の意見を伺いながら進めて参りたいと思う。学校、保護者の意見も伺いながら、進めていきたいと考えている。</p> <p>富士見小学校と鴨川小学校が統合するというのは、学区がかなり広くなると思う。小学校1年生などの通学のことを考えると、大丈夫なのか心配である。</p> <p>この計画に関しては、様々な説明会とか、自治会の方に話を伺ったり、保護者の方に意見を伺うなど、丁寧に進めていくという話があったが、計画が本当に実行される時は、もしかすると今の子ども達は大人になっていると思うが、今の子ども達の声も聞き、意見を吸い上げて欲しいと思う。</p> <p>忙しいし、先生たちにも負担をかけるとは思いますが、子ども達が生活する場であるため、子ども達の声や不安等をいろんな形で吸い上げてほしいと思う。</p>
<p>教育総務課長</p>	<p>富士見小学校と鴨川小学校の学区に関して、通学距離が遠くなり、場合によっては県道を通り登校をする児童が出てくることもあるかもしれない。</p> <p>再編するにあたり、子ども達のことを第一に考えなければいけないことだと思う。</p> <p>特に安心安全の部分に関しては、千葉の事故もありましたが、安心安全に通える学校を作っていかなければいけないと思っている。再編の協議の中で、今回はこのような形でエリアを設定し、地区で考えを聞かせていただきたいと考えている。</p> <p>いろんな意見を聞きながら、安全面の課題も当然出てくると思う。その解決方法も考えなければいけないと思う。いろんな意見をいただきながら、最善の学校の在り方を決定していきたいと思う。</p> <p>決定した際には、改めてまた皆様にはお知らせして、説明しなければいけないと考えている。</p> <p>2点目の子供たちの声も聞いてほしいということですが、私達も幅広く意見を聴取しなければいけないと思っている。</p> <p>現在の児童生徒に加え、未就学世帯の保護者たちにも意見を聞か</p>

<p>参加者</p>	<p>なければいけないと思っている。 幅広い意見をいただきながら、どのような形が良いのかを教育委員会で改めて検討して、決定していきたいと考えている。</p> <p>大石南小学校は 2029 年に統合とあるので、この計画はもう進んでいるということですか。 1 年生が 2023 年以降入ってくると、卒業時にはその学校がなくなることになるのではないかと。 通学路のことも心配である。保護者と地域の方と検討するということですが、先に、統合により通学距離が長くなったら子供たちが大変になることは明らかにわかることであり、大変な思いをして通学している子供たちを、さらに大変な距離を歩かせるのかという親の気持ちを理解してほしい。 また、地域のボランティアの方が下校サポーターとして頑張ってくれているが、さらにその人たちにも負担を負わせることになるのではないかと。 地域の人たちの協力を仰ぐ前に、市の方で通学区域について何が危険なのか、通学区域の広さは大丈夫であるかを調査してから考えていただきたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>大石南小学校の方向性のお話でしたが、こちらは市の財政シミュレーションを行ったときの検討案であり、その学校の校舎の耐用年数などを踏まえた検討結果である。 実際は協議の場を設け、その協議を丁寧に進めていきながら、2029 年を目途に進めていきたいと考えている。 これは市の決定事項ではないことをご理解いただきたい。 通学路のご心配の声に対して、子供の安全と負担軽減は、大前提となっているため、協議をする前に、教育委員会としても、どういったことで課題解決が図れるかを検討していきたいと考えている。</p> <p style="text-align: right;">以 上</p>